

能登半島地震被災者の仮設集会所利用の促進 ー仮設住宅団地における居場所づくりー

GAPPA noto 会長 金沢工業大学 竹内 申一

1. 活動の背景

令和6年能登半島地震を受け、北陸3県8大学・高専の21研究室の学生が中心となり、任意団体GAPPA noto(正式名称:北陸建築学生仮設住宅環境支援プロジェクト)が2024年4月に設立された。GAPPA(がっぱ)は、「一生懸命になる」という意味を持った石川県の方言である。団体設立の目的は、仮設住宅団地において、文化活動と居住環境改善を通して居住者の方々の安らぎのある住環境と豊かなコミュニティの形成を支援することである。モノづくりとコトづくりを中心に、建築を学ぶ学生だからこそ出来る支援のかたちを模索することが目指されている。

2. プロジェクトの立ち上げ

プロジェクトの対上げは、令和6年1月15日から本格化した。大学教員有志の初打合せが行われ、北陸3県8大学等の意匠・計画系研究室を中心に連携を呼びかけることとなった。(表1)

当初から念頭に置かれた活動として、熊本地震のKASEIプロジェクトがある。仮設住宅団地の集会場まわりの空間改善とコミュニティ形成支援に取り組むという内容が、本団体の行動目標になると考えられたためである。3月27日にはKASEIプロジェクトの代表者である九州大学の末廣香織教授にヒアリングを行い、2週間ごとの全体会議を経て4月に団体の概要と目標が定められ、任意団体の設立が決定した。

表1 設立時の参加者一覧

【富山県】2校4研究室	
上原雄史(富山大・教授)	横山天心(同左・准教授)
藪谷祐介(同左・講師)	川本聖一(富山国際大・教授)
【石川県】3校12研究室	
白石英臣(金沢大・講師)	丸山耕太(同左・准教授)
西野辰哉(同左・教授)	藤井容子(同左・准教授)
佐藤考一(金沢工大・教授)	下川雄一(同左・教授)
竹内申一(同左・教授)	円井基史(同左・教授)
宮下智裕(同左・教授)	藤井健史(同左・講師)
西本耕喜(金沢美大・准教授)	豊島祐樹(同左・准教授)
熊澤栄二(石川高専・教授)	
【福井県】2校4研究室	
菊池吉信(福井大・准教授)	西本雅人(同左・准教授)
裏敏廷(同左・助教)	丸山晴之(福井工大・准教授)

3. 支援対象団地の選定

GAPPA notoの石川県内の活動は5市町6地区の仮設住宅団地で行われている。(図1)対象地の選定にあたっては、参加学生数や対象の団地の規模、集会場や公民館の有無を勘案しながら、各市町の担当者との協議によって決定した。当初の活動のイメージが共有空間である集会施設における環境支援であったため、集会場や公民館が隣接している団地であることは必須であった。

図1 石川県内の活動対象地



4. 活動の開始と能登半島豪雨

当初の計画では、2024年4月頃からヒアリングを開始し、8月から9月の期間に本格的な活動が行えると思われた。しかし、4月の段階で仮設住宅団地の建設の遅れや各地域の代表者が不透明な状態であったため、6月末までは各地区への具体的な相談を控え、記者発表やWeb開設を行った。

現地での活動が開始されたのは7月に入ってからである。7月末には各地区でのチーム編成が行われ、9月下旬から10月上旬にかけて現地でのイベントやワークショップ開催が予定されていた。しかし、これらは奥能登豪雨によって順延を余儀なくされ、実質的な現地での活動開始は11月以降にずれ込んだ。

5. ヒアリングを通して見えてきたこと

現地での活動開始にあたって各地域の住民の方々へのヒアリングを行って分かったことは、住民の方々がまず望んでいるのは、祭りの再開や文化活動の開催以前に、住環境の改善であった。多くの地区で共通に聞かれたのは、収納不足による住みづらさであった。そこで、初期の活動の方針として、各住戸の居住空間の改善を通じて文化活動の基盤となる居住者コミュニティとの信頼関係を構築することとした。

6. 各地区での活動成果

三井町第1・2団地での主な取り組み

初回の2024年9月に現地視察とヒアリングを行い、調理スペース不足や収納の不便、安否確認への不安といった課題が明らかになった。これを受け、11月に開催された三井地区文化展ではクラシックコンサート

(写真1)や落語など多世代が楽しめる文化活動による交流の場を設けるとともに、調理環境改善を目的にマグネット付きまな板「まなピタ」(写真2)を住民と製作した。各戸訪問を通じて課題の聞き取りを行い、その結果、「収納不足」が大きな問題として浮かび上がったため、段ボールを用いた安価で処分も容易な収納家具「段ボックス・段ボード・突っ張りボックス」を考案。2025年3月には餅つき大会をきっかけに、今後のまちづくりの基礎情報につながる思い出ワークショップを実施し、住民の地域への思いを記した地図を作成した。6月には公共空間のアイデア相談会とともに改良された収納ボックスを配布し、多様な用途での活用が進んでいる。(写真3)



写真1 クラシックコンサートの様子



写真2 まなピタの使い方を説明している様子



写真3 段ボール突っ張りボックスの活用例

2025年の三井地区文化展では、洲衛獅子舞保存会の方々の協力により震災前から開催出来ていなかった獅子舞を復活させることとなり、11月1日に開催された文化展では多くの住民の方々の前で獅子舞を披露することとなった。(写真4・写真5)



写真4 獅子舞の練習する学生の様子



写真5 獅子舞を披露する様子

門前第1団地での取り組み

第1回の訪問にて、地区代表者や行政らと顔合わせを兼ねた意見交換を行った。浦上地区は祭礼や朝市など年間を通じた行事が盛んな地域であったが、震災や大雨の影響で多くが中止となった。仮設住宅では自主的な植栽活動も見られる一方、外部団体による支援イベントは参加が固定化し、住民の負担や疲れも指摘された。その後、奥能登豪雨後には避難所で茶話会を実施した後しばらくの期間活動が中断していたが、2025年12月に行われた公民館の家具製作ワークショップから徐々に活動が再開されている。

蛸島町第2・3・4団地での主な取り組み

2024年12月に行われた初回では、GAPPAカフェ(写真6)を開催し、冬季の断熱対策への不安や生活音・匂い・プライバシーといった仮設住宅特有の課題を把握した。



写真6 GAPPAカフェの様子

2025年5月のワークショップでは、キッチン用まな板「まなピタ」を配布し、GAPPAカフェや地域写真展を通じて地域の人々の想いやニーズに耳を傾けると共に、クラシックコンサート(写真7)を開催し多くの住民に参加頂いた。その後も7月に開催さ

れた表札づくりワークショップや、9月の蛸島キリコ祭りへの参加(写真8)、10月のBBQベンチの設置とBBQ大会の開催、12月のしめ縄づくりワークショップ(写真9)などの活動が継続されている。



写真7 クラシックコンサートの様子



写真8 蛸島キリコ祭りへの参加



写真9 しめ縄づくりワークショップの様子

かんまち住宅での主な取り組み

2025年1月に石川県の郷土料理である治部煮の炊き出しを行い、住民同士や支援者との対話を通じて生活課題の把握と交流の促進を図った。同時に収納BOX製作ワークショップ(写真10)を実施し、住民が製作に没頭する体験を共有することで心理的緩和の効果も確認された。



写真10 収納BOX製作ワークショップ

5月にはアイデアボードを設置して今後の活動方針に結びつけた。また、収納家具の製作・配布を実施し、その実用性と達成感が好評を得た。さらに8月には、住民の要望を踏まえて竹を用いた流しそうめんと竹を素材としたものづくりワークショップ(写真11)を開催し、季節感を共有しながら多様な世代が参加できる交流の場を創出した。



写真11 ものづくりワークショップの作品

11月には、おでんの炊き出しと灯籠ワークショップを行い、キリコをイメージした照明を製作した。(写真12)



写真12 灯籠ワークショップ

由比ヶ丘団地での主な取り組み

由比ヶ浜団地での活動では、2025年3月と4月に「りんごプロジェクト」(写真13)を通してコミュニティ支援に取り組んだ。りんごを食べて種を取り出し、発芽させて公費解体された自宅跡地に植えるという取り組みを通じて、「久しぶりで嬉しい」「成長が楽しみ」という声が聞かれ、住民の皆さんのささやかな喜びと未来への希望を感じ取ることが出来た。



写真13 発芽したリンゴの種を植える様子

垣吉町・田鶴浜町団地での主な取り組み

田鶴浜団地では、2024年10月に「どこで

もカフェ」に参加し、被災当時の状況や現在の生活について直接話を伺うとともに、仮設住宅の見学を通じて、騒音やプライバシーなど具体的な生活課題を把握した。12月にはコミュニティセンターで模擬店や餅つき、クリスマスライブを実施し、地域住民との信頼関係を構築した。子どもから大人まで幅広い世代が交流し、地域に根差した温かい繋がりを実感することができた。

垣吉町団地では、まなピタの配布や集会所の靴箱制作、2025年5月にグリーンカーテンの設置(写真14)を実施した。7月には「かき氷フェス」と「収納大作戦」、8月には「風鈴色付け体験」(写真15)を開催し、多世代の交流を創出しながら、収納に関する個別相談会を継続的に実施した。



写真14 グリーンカーテンを設置する様子



写真15 風鈴色付け体験で製作された風鈴

令和7年3月～令和8年2月までの事業一覧表

団地名称（戸数）	担当研究室	活動日	活動概要
門前浦上第1団地(79戸) 門前浦上Gゴルフ場 門前浦上Gゴルフ場横	金沢工大宮下研, 福井工大丸山研	2025年11月1日	団地訪問にて、公民館長と住民代表へヒアリング
		2025年11月～12月	畳ベンチの製作(11月～12月)と設置(12月22日)
三井町第1団地(68戸) 三井地区交流広場 三井町第2団地(20戸) 三井地区運動広場	金沢工大竹内研, 金沢大西野研,藤井研, 富山国際大川本研	2025年3月29日	餅つき大会、思い出WS、収納アイデア相談会を実施
		2025年6月8日	収納ボックス(段ボックス等)を配布、思い出WS、公共アイデア相談会を実施
		2025年10月21日	BBQベンチの設置
		2025年10月26日	獅子舞の練習会実施
		2025年11月1日	三井地区文化展において獅子舞ワークショップとBBQ大会を実施
		2026年1月16日	三井地区文化展において餅つき大会を実施
蛸島町第2団地(42戸) 市営Gゴルフ場北 蛸島町第3団地(48戸) 市営Gゴルフ場西 蛸島町第4団地(51戸) 市営Gゴルフ場南	金沢大白石研, 金沢工大竹内研,Toiro, 金沢美大西本研	2025年5月17日	クラシックコンサート、収納アイデア相談会、がっパカフェ、学生活動アイデア集、あなたの町の記憶展を実施
		2025年7月12日	収納ボックス(段ボックス等)を配布、がっパカフェを実施
		2025年7月27日	表札づくりワークショップを実施
		2025年9月25日	BBQベンチの設置
		2025年10月4日	表札づくりワークショップ第2弾とBBQ大会を実施
		2025年11月15日	ジオラマワークショップを実施
		2025年12月7日	しめ縄づくりワークショップを実施
かんまち住宅(34戸) 旧上町小学校	福井大菊地研, 金沢工大Toiro	2025年5月25日	アイデアボード、収納ボックス・ラック製作ワークショップを実施
		2025年8月31日	流しそうめん、竹を使ったものづくりワークショップを実施
		2025年11月22日	おでん炊き出しと灯籠ワークショップを実施
由比ヶ丘団地 (85戸・95戸) 陸上競技場① 陸上競技場②	金沢大丸谷研, 福井大表研究室	2025年3月7日	りんごプロジェクトを実施
		2025年4月19日	りんごプロジェクト第2弾を実施
垣吉町第1団地(66戸) 田鶴浜多目的G	金沢工大藤井研	2025年5月8日	まなピタを配布
		2025年5月25日	グリーンカーテンの設置、集会所の靴箱制作を実施
		2025年7月12日	かき氷の提供、収納家具の制作を実施
		2025年8月5日	風鈴づくりワークショップ、収納家具の制作を実施
		2025年11月30日	収納家具の製作と鳥野菜鍋づくりを実施

※Gはグラウンドの略